
苫小牧市美術博物館 年報

第11号（令和5年度）

苫小牧市美術博物館
Tomakomai City Museum

苫小牧市美術博物館 年報11号 目次

1 事業報告	1
(1) 展示事業	1
(2) 教育普及事業	4
(3) 資料の収集・保存	8
(4) 調査・研究活動	11
(5) 広報・CS向上	11
(6) 展示室貸出事業	11
(7) 市民協働	12
(8) 埋蔵文化財の保護	12
(9) 大会・研修への参加	12
(10) その他の事業	13
2 入館者	13
3 令和5年度決算(見込)	14
(1) 歳入	14
(2) 歳出	14
4 令和6年度予算	15
(1) 歳入	15
(2) 歳出	15
5 施設の概要	16
(1) 沿革	16
(2) 施設見取り図・概要	18
(3) 組織	19

はじめに

苫小牧市美術博物館《あみゅー》は、「樽前山麓と勇払原野の自然と文化」を主軸とする博物館事業に加え、「市民に開かれ」「子どもたちの感性を育む」「文化芸術活動の拠点として」を基本理念とする美術館事業を実施し、各種特別展、郷土に根ざした作家を紹介する企画展のほか、中庭を利用した新進気鋭の作家による屋外展示などを展開してまいりました。

博物館時代から実施してきた郷土の自然・考古・歴史に関連する展覧会についても学芸員の調査研究の公表の場として継続するほか、各種教育普及事業も実施しております。

このように多岐にわたり事業を展開できたのも、企業・各館園及び研究機関、各種団体・個人の皆様のお力添えのおかげと、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

本号では、令和5年度の事業内容を記載しております。特別展では、出光興産株式会社北海道製油所操業50周年と苫小牧市美術博物館開館10周年を記念した特別展「出光美術館近代美術名品選―四季が彩る美の世界」と縄文と現代という2つの時代の造形表現を比較する複合施設ならではの特別展「縄文≡現代～共鳴する美のかたち」を開催しました。企画展は、当館所蔵の風景画及び静物画を紹介した「美術所蔵名品選：風景画×静物画編」、水に関係する昔の道具を紹介した「昔の道具～水と暮らし～」、地元ゆかりの画家の生誕100年を記念した「鹿毛正三―アトリエ“薔薇絵亭”より―」を開催しました。また、苫小牧市・八戸市交流連携協定(はちとまネットワーク)の提携5周年を記念した特集展示「〈はちとま〉の海にまつわる自然と歴史」と海岸の漂着物を素材とした特集展示「THE SNOWFLAKES」や中庭展示など、歴史、考古、自然、美術の各分野を融合した地域色豊かな事業を実施しました。

最後になりますが、当館の運営及び各種展示・教育普及事業の実施にご協力を賜りました皆様、展示監視活動に携わっていただきました登録ボランティア及び美術館友の会事業部の皆様に心から感謝申し上げますとともに、今後一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年7月

苫小牧市美術博物館
館長 藤原 誠

1 事業報告

※全て講師名は敬称略、所属等は令和5年4月現在

(1) 展示事業

①特別展

○縄文⇄現代～共鳴する美のかたち

令和5年7月15日(土)～9月3日(日)(観覧者数：3,668名)

協力：青森県立美術館／青森県立郷土館／八戸市博物館／八戸市美術館／八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館

後援：苫小牧商工会議所／苫小牧信用金庫／北海道新聞社苫小牧支社／株式会社苫小牧民報社

「縄文」と「現代」という2つの時代の表現の共鳴を図る複合施設ならではの展示企画となる本展では、土器や土偶といった縄文時代の文化財や、戦後日本の美術作品の多彩な表現を比較し、その根底にある普遍的な精神についてさぐる機会となった。

(関連行事)

7月15日(土) オープニングセレモニー (参加者：63名)

7月15日(土) 開幕記念クロストーク

講師：工藤健志(青森県立美術館美術企画課課長)、細矢久人(当館学芸員)、岩波連(当館学芸員) (参加者：33名)

7月30日(日) ワークショップ「〈起源のモニュメント〉～土偶アーティストになろう！」
【美術博物館祭企画、苫小牧・八戸交流連携協定「はちとまネットワーク」連動企画】

講師：藤沢レオ(金属工芸家・彫刻家) (参加者：35名)

8月26日(土) 講演会「八戸の縄文文化と社会」

【苫小牧・八戸交流連携協定「はちとまネットワーク」連動企画】

講師：市川健夫(八戸市博物館主査兼学芸員) (参加者：35名)

7月29日(土)、8月29日(火)～9月3日(日) 夜間開館(参加者：120名)

○出光興産株式会社北海道製油所操業50周年・苫小牧市美術博物館開館10周年

「出光美術館近代美術名品選一四季が彩る美の世界」

令和5年9月23日(土)～11月19日(日)(観覧者数：12,433名)

特別協力：出光興産株式会社北海道製油所

出品協力：公益財団法人出光美術館

後援：苫小牧商工会議所／苫小牧信用金庫／北海道新聞社苫小牧支社／株式会社苫小牧民報社／北海道石油共同備蓄株式会社北海道事業所

出光興産株式会社北海道製油所操業50周年と苫小牧市美術博物館開館10周年を記念し開催した。本展では、出光美術館のコレクションから、日本の近代美術における、草花や鳥、移ろう季節のイメージの様相を辿った。日本画、油彩画、工芸品による名品61点を紹介した。

(関連行事)

9月23日(土) オープニングセレモニー (参加者：92名)

10月22日(日) 記念講演会「出光コレクションと近代美術」

講師：廣海伸彦(出光美術館主任学芸員) (参加者：53名)

10月28日(土) 学芸員によるスライドトーク (参加者：20名)

10月7日(土)、11月14日(火)～11月19日(日) 夜間開館(参加者：191名)

②企画展

○美術所蔵名品選：風景画×静物画編

令和5年4月29日(土・祝)～6月25日(日)(観覧者数：3,438名)

後援：苫小牧信用金庫／北海道新聞社苫小牧支社／株式会社苫小牧民報社

美術博物館開館10周年を記念し開催した本展では、当館所蔵の絵画作品の中から、風景画及び静物画を精選して紹介し、絵画表現ならではの魅力にふれる機会となった。

(関連行事)

5月7日(日) スライドトーク (参加者：18名)

5月21日(日) ワークショップ「デッサン in ミュージアム」 (参加者：7名)

○昔の道具～水と暮らし～

令和5年12月9日(土)～令和6年1月28日(日)(観覧者数：2,180名)

協力：北海道博物館／室蘭市民俗資料館

後援：苫小牧信用金庫／北海道新聞社苫小牧支社／株式会社苫小牧民報社

水に関係した昭和時代の生活道具を、「あらう」「よそおう」「たべる」「たのしむ」などのテーマに分けて紹介した。郷土学習の時期に合わせて開催したため、学習後に再来館する児童や、展示資料が小学校の学習教材に活用されるなどの反響があった。

(関連行事)

12月17日(日)、1月27日(土) 古文書解説講座中級編 (全2回・参加者：37名)

1月14日(日) レインスティックをつくろう (参加者：20名)

○鹿毛正三アトリエ“薔薇絵亭”よりー

令和6年2月10日(土)～3月24日(日)(観覧者数：2,497名)

後援：苫小牧信用金庫／北海道新聞社苫小牧支社／株式会社苫小牧民報社／NHK室蘭放送局

苫小牧を拠点としていた画家・鹿毛正三(1923～2002)の生誕100年を迎えることを記念し開催した本展では、アトリエに残された未発表作品を中心に、風景作品81点を展示した。

(関連行事)

3月8日(金) 絵画鑑賞会(共催：苫小牧市美術館友の会) (参加者：11名)

3月9日(土) ギャラリートーク (参加者：25名)

③特集展示

○〈はちとま〉の海にまつわる自然と歴史

令和5年7月15日(土)～9月3日(日)(観覧者数：3,668名)

苫小牧港が開港して60年、八戸と苫小牧間のフェリー就港50年の節目を記念し、苫小牧西港の歴史とフェリー航路に生息する海洋生物を紹介した。

(関連行事)

7月17日(月・祝) ボランティアによるお話会(会場：苫小牧市立中央図書館)

(参加者：13名)

○THE SNOWFLAKES

令和5年12月9日(土)～令和6年3月24日(日)(観覧者数：4,851名)

協力：飛生の森づくりプロジェクト

連携：札幌国際芸術祭実行委員会／札幌市

2020年に白老町で結成された、奈良美智、国松希根太、小助川裕康、奥山三彩の4人で構成される「THE SNOWFLAKES」による新作インスタレーションを紹介した。

(関連行事)

12月9日(土) アーティストトーク&ライブ(内覧会) (参加者：71名)

講師：THE SNOWFLAKES(奈良美智、国松希根太、小助川裕康、奥山三彩)

演者：DJ GAK、Daiki Kojeemah

④中庭展示

○Vol.19 大島慶太郎「MONOGRAMS」

令和5年4月29日(土・祝)～11月19日(日)(観覧者数：9,820名)

映像作家・大島慶太郎の作品を紹介した本展では、中庭空間をはじめ館内の随所において、はく製などの資料を素材とする映像と、毛皮や絵葉書などの実物を組み合わせて展示した。

⑤収蔵展示室(常設展示室内)

○第一収蔵展示室

・植物の立体乾燥標本 令和6年3月～

・ミニギャラリー四季の風景 【夏・秋】令和5年6月～11月 【冬・春】令和5年12月～

○第二収蔵展示室

・縄文時代の装身具について 令和6年3月～

・土製品について 令和6年3月～

⑥ロビー展示・無料スペースにおける展示

○静川遺跡コーナー

・有珠川7遺跡発掘速報展示 令和6年3月～

○1階ロビー

- ・五月人形の展示 令和5年4月25日(火)～5月5日(金・祝)
- ・干支の展示 令和6年1月4日(木)～1月28日(日)
- ・ひな人形の展示 令和6年2月25日(日)～3月3日(日)

○2階展望ロビー

- ・表紙でみる苦小牧の美術 令和5年4月～
- ・歴史 令和6年度に延期

⑦あみゅー10周年記念事業

開館10周年を盛り上げるため、無料観覧日(あみゅー秋のサンクスデー)にフォトスポット展を設置したほか、記念ロゴの制作、そのロゴを利用した缶バッジの配布(苦小牧ライオンズクラブ寄贈)、当館広報印刷物等にロゴを掲載した。

⑧八王子市との姉妹都市締結50周年記念事業「姉妹都市盟約締結と50年前の苦小牧」

令和5年7月25日(火)～8月25日(金)

会場：苦小牧市役所2階市民ギャラリー

八王子市と姉妹都市盟約を締結した当時の苦小牧のまちの様子を、写真パネル等で紹介した。

⑨ウトナイ湖野生鳥獣保護センター・サテライト展示

勇払原野に生息する生物を紹介するために、当館の収蔵資料を展示する取組。今年度は、令和6年1月25日からイイズナのはく製を展示した。

(2) 教育普及事業

①体験プログラム(一般申込型普及事業)

○美術博物館祭2023

令和5年7月29日(土)～30日(日)(参加者数：898名)

展示プログラムの観覧をはじめ、ワークショップ等の実施による制作体験や学びを通して、当館の活動に親しむことを目的とし、平成28年度よりアートフェスティバルと同時期に実施している。本年は講師やアーティストとも連携し、幅広いワークショップを実施することができた。

○無料観覧日

「ゴーゴーミュージアム」としては4年ぶりにイベントを開催し、新型コロナウイルス感染拡大前と同規模の参加者数となった。「あみゅー秋のサンクスデー」の参加者数も、昨年度(815名)に比べて増加した。

日 時	内 容	実 施 内 容	参加者
R5.5.5	ゴーゴーミュージアム	「もぐさカイロづくり」「館内たんけん！カードクイズ」「あみゅー特製ぬり絵」「あみゅー10周年フォトスポット」	815名

日 時	内 容	実 施 内 容	参加者
R 5.11.3	あみゅー秋のサンクスデー	「わくわく縄文ランド(協力：苫小牧縄文会)」 「花びんをデザインしよう」 「常設展示解説」	882名

○ミュージアムラボ(対象：小学生～一般)

体験を通して考古や美術に親しむ行事を実施した。

日 時	内 容	講 師 名	参加者
R 5.6.10	まが玉をつくろう	岡本 直樹(当館学芸員)	20名
R 6.1.8	書初め	沖津 かな(当館主任学芸員)	9名

②通年プログラム(登録制の各種プログラム)

○美術博物館大学講座(登録者数：110名)

苫小牧や胆振・日高、北海道に関する自然、芸術、歴史の各分野の講師による講演を実施した。

日 時	内 容	講 師 名	参加者
R 5.6.3	「千歳の考古学」	直江 康雄 (千歳市埋蔵文化財センター 係長)	89名
R 5.7.8	「世界に開かれた港湾都市の創造 苫小牧港の歴史」	関口 信一郎 (萩原建設工業株式会社 特別顧問)	87名
R 5.8.19	「闇夜に生きるフクロウの秘密：北海道に暮らすフクロウの生態」	外山 雅大(根室市歴史と自然の資料館 学芸員)	83名
R 5.9.16	「アオバトの謎めいた生態調査が面白かった件」	松岡 和樹 (株式会社地域環境計画北海道支社 生物多様性推進室 室長)	72名
R 5.10.21	「王子製紙と北海道の産業遺産」	角 幸博(NPO法人 歴史的・地域資産研究機構 代表理事)	77名
R 5.11.11	「北海道の現代美術」	門間 仁史 (北海道立近代美術館 主任学芸員)	77名
R 5.12.16	「アイヌの耳飾り・首飾り」	亀丸 由紀子 (北海道博物館 学芸員)	70名
R 6.1.20	「標本ってオモシロイ！ ～作って、調べて、残して～」	江崎 逸郎(当館主査 学芸員)	73名
R 6.2.24	「お墓の考古学」	岡本 直樹(当館学芸員)	80名

○子ども広報部「びとこま」(共催：NPO法人樽前artyプラス 登録者数：15名)

小中学生の子ども記者を募集し、展覧会の取材、撮影・記事作成を指導し、子ども広報紙「びとこま」を発行した。

5月～令和6年3月(年9回実施) 子ども広報紙発行：1回 総参加者数：165名

○歴史見学会「王子製紙苫小牧工場の歴史」

王子製紙苫小牧工場敷地内で解説会を実施した。小学生の親子連れや、当館事業に初参加の市民が半数近くを占めており、幅広い層がまちの歴史に触れる良い契機となった。

10月8日(日) 参加者：24名

○自然観察会「昆虫採集と標本づくり」

北海道大学苫小牧研究林内で昆虫の採集と標本づくりを、子ども広報部「びとこま」の登録者を対象に行った。製作した標本は当館エントランスに展示した。

※北海道大学苫小牧研究林との地域包括連携協定の一環として実施

8月20日(日) 参加者：33名

○古文書解説講座(対象：高校生～大人 登録者数 初級編：23名 中級編：26名)

古文書解説にあたり必要なくずし字解説の基礎や古文書から歴史を読み解き、歴史に親しんでもらうための講座を行った。

(初級編) 2月10日(土)、11日(日)、25日(日)、3月10日(日)、24日(日)

(中級編) 12月17日(日)、1月27日(土)

総参加者数：140名 講師：佐藤 麻莉(当館学芸員)

○考古学講座(対象：高校生～大人)

土器や石器、骨角器などについて実際の資料を交えて、考古学をより深く知ってもらうための講座を行った。

12月10日(日)、1月6日(土)、2月17日(土)、3月3日(日)※遺跡報告会として実施

総参加者数：155名 講師：岩波 連(当館学芸員)

③学校連携プログラム

○郷土学習(対象：市内小学校23校3・4年生)

4年ぶりに石臼を使った体験学習を実施した。暴風警報発令による休校に伴う実施日程の変更はあったが、全校中止となることなく実施することができた。

9月～12月 参加児童：1,375名

○アウトリーチ事業 みゅーじあむ in スクール

苫小牧出身の画家・加藤広貴を講師に迎え、対話による美術の鑑賞活動を市内小中学校で行った。

10月27日(金) 苫小牧市立清水小学校5年生

12月7日(木) 苫小牧市立樽前小学校5・6年生

参加者：合計47名

○教員のための博物館の日 in 苫小牧

(共催：国立科学博物館、日本博物館協会 協力：苫小牧市教育研究所)

(対象：苫小牧市及び周辺地域の教員等)

「苫小牧のアイヌ語地名」「紙すき体験」等のワークショップを実施した。参加者が主体的に取り組めるプログラムが好評だった。

8月3日(木) 参加教員：58名

○総合学習・職場体験

総合学習

10月18日(水) 苫小牧市立苫小牧東小学校 6年生 38名 「地層の学習」

職場体験

10月11日(水) 苫小牧市立苫小牧東中学校 2年生 3名

10月18日(水) 苫小牧市立明野中学校 2年生 3名

10月18日(水) 苫小牧市立ウトナイ中学校 2年生 2名

10月24日(火) 苫小牧市立青翔中学校 2年生 2名

10月25日(水) 苫小牧市立明倫中学校 2年生 4名

10月26日(木) 苫小牧市立啓明中学校 2年生 3名

10月26日(木) 苫小牧市立開成中学校 2年生 2名

○学芸員実習の受入

学芸員資格取得のための実務実習を実施した。

8月18日(金)～26日(土)のうち7日間

実習生：3名 受入先：京都女子大学、札幌市立大学、八州学園大学

④その他の教育普及事業

○出前講座

日 時	団 体	演 題	対応職員	参加者
R 5.7.17	東開文化交流サロン	苫小牧のアイヌ文化	岩波 連	11名
R 5.8.30	げんき倶楽部	苫小牧のアイヌ文化	岩波 連	12名
R 5.9.18	新開明野元町町内会	苫小牧の歴史	佐藤 麻莉	10名
R 5.9.21	苫小牧市立錦岡小学校4年生	苫小牧のアイヌ文化	岩波 連	124名
R 5.10.5	苫小牧市立大成小学校6年生	大昔の苫小牧	岩波 連	67名
R 6.2.21	苫小牧市立美園小学校3年生	苫小牧の野鳥	江崎 逸郎	76名

○講師派遣・総合学習

日 時	団 体	演 題	対応職員	参加者
R 5.7.23	出光興産北海道製油所	草木の教室	江崎 逸郎	40名
R 5.11.4	苫小牧市生涯学習課	文化財発見ツアー	岩波 連 岡本 直樹	36名
R 5.12.15	苫小牧ロータリークラブ	企画展「昔の道具～水と暮らし～」	佐藤 麻莉	40名
R 6.1.23	苫小牧市立泉野小学校3年生	かわる道具と暮らし	佐藤 麻莉 岡本 直樹	69名
R 6.2.2	苫小牧市立沼ノ端小学校 3年生	かわる道具と暮らし	佐藤 麻莉 藤原 誠	60名
R 6.2.8	苫小牧市立拓進小学校3年生	かわる道具と暮らし	佐藤 麻莉 岩波 連	129名

日 時	団 体	演 題	対応職員	参加者
R 6.2.15	苫小牧市立美園小学校 3 年生	かわる道具とくらし	佐藤 麻莉 沖津 かな	77名
R 6.3.9	キウス周堤墓群を 守り活かす会	千歳・恵庭・苫小牧 縄文一万年の謎	岩波 連	170名

○苫小牧市アイヌ政策推進事業

日 時	内 容	講 師 名	参加者
R 5.11.5	首飾り(タマサイ)からみたアイヌ文化	関根 達人(弘前大学 教授)	35名

○八王子姉妹都市盟約50周年記念事業

日 時	内 容	講 師 名	参加者
R 5.8.12	蚕のまゆから 糸をとってみよう	佐藤 麻莉(当館学芸員)	25名
R 5.8.13	まゆ人形をつくろう	佐藤 麻莉(当館学芸員)	18名
R 5.8.27	八王子のまちの歴史と 千人同心	加藤 典子 (八王子市郷土資料館 学芸員)	37名

○特別展夜間開館

7 月29日(土)、8 月29日(火)～9 月 3 日(土)、10月 7 日(土)、11月14日(火)～19日(日)

参加者：311名

○カムイノミ・イチャルパ

(共催)苫小牧アイヌ協会 6 月25日(日) 参加者：60名

(3) 資料の収集・保存

①資料の増加状況(過去5年分)

年度	考 古	歴 史	民 族	自 然	芸 術	合 計
R元	(0) 45,204	(2) 49,660	(0) 1,805	(0) 42,375	(4) 1,523	(6) 140,567
R 2	(0) 45,204	(2) 49,662	(0) 1,805	(91) 42,466	(0) 1,523	(93) 140,660
R 3	(0) 45,204	(47) 49,709	(0) 1,805	(0) 42,466	(200) 1,723	(247) 140,907
R 4	(0) 45,204	(0) 49,709	(0) 1,805	(6) 42,472	(3) 1,726	(9) 140,916
R 5	(0) 45,204	(0) 49,709	(0) 1,805	(0) 42,472	(5) 1,731	(5) 140,921

※()内は、各年度における資料の増加点数

②寄贈資料

月 日	資 料 名	数量	分 類
R 5.7.12	画家・高橋伸の油彩画	3 点	美 術
R 5.9.19	画家・本間武男の版画	1 点	美 術
R 6.1.19	画家・北川豊の油彩画	1 点	美 術

③利用状況

資料調査

申 請 元	資 料	利用目的(方法)	調査日
個 人	蘚苔類標本145点	未同定資料の同定	R5.4.1～ R 6.3.31
個 人	エムシイペ (アイヌ刀 刀身一式)	在銘、形式、彫刻等の調査	R 5.6.13
マ ウ ニ 会	アイヌ衣服カパラミッ	複製衣	R 5.10.25
北 海 道 大 学 植 物 園・博 物 館	折居彪二郎書簡類72点	採集活動の実態等の解明	R 5.11.2
(公財)北海道埋蔵 文化財センター	植苗貝塚および静川22遺 跡出土資料	インタープリテーション等の方 法を提示するための調査研究	R 5.11.8
弘 前 大 学 人 文 社 会 科 学 部	シトキタマサイ77点	大学院生の修士論文	R6.2.20～ 2.23
北 海 道 立 近 代 美 術 館	鹿毛正三《漁港》ほか	苫小牧地域の美術研究	R 6.2.20
個 人	美沢4遺跡耳飾、柏原5 遺跡石製装身具ほか一式	石製装身具等の石材の調査	R 6.3.6

館外貸出

申 請 元	資 料	利 用 目 的	貸出期間
独 立 行 政 法 人 国 立 文 化 財 機 構 奈 良 文 化 財 研 究 所	静川22遺跡出土ガラス玉 12点、静川37遺跡出土ガ ラス玉2点など合計224点	ガラス玉の非破壊分析のため	R 5.6.14
株 式 会 社 ナ チ ュ ラ ル サ イ エ ン ス	土製耳飾3点(柏原5遺 跡)、足形付土製品2点 (美沢3遺跡)	「ナチュの森で縄文にであう」 展で展示	R6.3.15～ 9.30

館外貸出以外の利用(データ提供、複写、模写等)

申請元	資料	利用目的	方法
北海道胆振 総合振興局	静川遺跡5枚、シカ落とし穴、出土品(以上、静川遺跡)、柏原第5遺跡のヒスイ飾玉、柏原18遺跡の土偶	展示「北の縄文パネル展」(令和5年5月～令和6年3月)で使用	データ提供
株式会社 誠文堂新光社	アイヌ丸木舟及び推進具	「月刊天文ガイド」令和5年6月号に掲載	データ提供
株式会社かみゆ	マンモスの親子画像	書籍「日本史 AREA with Kids」に掲載	データ提供
株式会社 第一学習社	マンモスの親子画像	高等学校地理歴史副教材「最新日本史図表」に掲載	データ提供
上越教育大学	椀(資料番号1088)、天目台(資料坂東1129)	「地方史研究」424号(令和5年8月号)で紹介	データ提供
萩原建設工業 株式会社札幌支店	アイヌ丸木舟及び推進具	「北海道みなとまち紀行」第3号に掲載	データ提供
京都市立松ヶ崎 小学校PTA	マンモスの親子画像	書籍「子どものための松ヶ崎風土記」に掲載	データ提供
株式会社 マックガーデン	当館の外観、内観、展示物の画像	漫画「ニヤイト・オブ・ザ・リビングキャット」登場の建物のモデル	データ提供
株式会社 主婦と生活社	マンモスの親子画像	サピックスブックス「日本歴史カード改訂版」に掲載	データ提供
株式会社新泉社	タマサイ(資料番号453,492)画像2点	書籍「つながるアイヌ考古学」に掲載	データ提供
苫小牧市 環境生活課	鹿肉缶詰、エゾシカ剥製など画像4点	ゼロカーボン見学ツアーで使用	データ提供
千歳市埋蔵 文化財センター	静川遺跡 写真	「縄文フォーラム」(令和6年3月9日開催)のポスター・フライヤーに使用	複写提供
苫小牧市立 泉野小学校	洗濯たらい、洗濯板、羽釜、氷枕の画像4点	社会の授業「3年生 昔の道具」におけるワークシートに使用	データ提供
ホッキ貝資料館	昭和30年代市内西部地区(西町)の写真	苫小牧郷土文化研究会講演会資料として使用するため	データ提供
上越教育大学	椀(資料番号1088)、天目台(資料坂東1129)	「漆器からみるアイヌ社会と文化」(令和6年3月刊行予定)所収の論文に掲載	データ提供
株式会社文学通信	イクパスイ 画像2点	書籍「開講、木彫り熊概論(仮)」に掲載	データ提供
北海道埋蔵 文化財センター	柏原5遺跡出土土偶 表面・裏面 画像2点	縄文遺跡群インタープリテーション事業におけるガイド向けの推進冊子WEB掲載	データ提供

(4) 調査・研究活動

学芸員がテーマごとに資料収集・調査研究を実施した。

氏 名	分 野	研 究 テ ー マ
細矢 久人	美 術	苫小牧および北日本における近現代美術
江崎 逸郎	自然史	樽前山及び勇払原野一帯の生物相とその変遷
沖津かなな	書	苫小牧および北海道の書道史
立石絵梨子	美 術	日本近現代美術、美術館教育
岩波 連	考 古	動物考古学・アイヌ考古学
佐藤 麻莉	歴 史	日本近世史、北方史
岡本 直樹	考 古	縄文時代の墓制

(5) 広報・CS向上

①印刷物の発行

逐次刊行物

年報第10号、紀要第9号、美術博物館だより第11号を発行した。

その他印刷物

年間スケジュール1件、各種展示会の広報印刷物、「苫小牧市美術博物館所蔵作品選」図録、特別展「縄文≒現代」記録集、広報紙「びとこま」33号、「市内遺跡発掘調査等事業報告書3」を作成した。

②各展覧会におけるポスター・チラシの配布

特別展・各企画展においてポスター・チラシを作成し、市内外に郵送及び手持ちで配布した。

③美術博物館公式HPの運営

常に最新の情報が掲載されるように展覧会・行事ごとに随時更新を行い、情報発信に努めた。

④美術博物館公式Facebookの運営

令和5年度は計179回更新し、展覧会や行事の案内のほか、常設展示や展覧会の見どころも写真を添えて紹介した。(フォロワー数：510人※前年から33人増加)

⑤美術博物館公式Xの運営

Facebookと同様の内容のほか、関連アカウントの記事を引用で紹介し、計273回更新した。(フォロワー数：1,320人※前年から230人増加)

⑥苫小牧市公式LINEの活用

苫小牧市民の登録者が多いLINEを利用し、展覧会情報等を発信した。

(6) 展示室貸出事業 ※令和5年度受付分

U-20若者美術展 令和6年4月2日(火)～4月6日(土) 来館者数：359名

苫小牧美術協会 春季展 令和6年4月9日(火)～4月13日(土) 来館者数：462名

(7) 市民協働

①市内の歴史、美術等に関連のある団体を当館の登録団体として支援、協働を行った。

- ・ 苫小牧市博物館友の会の会議や講座開催時の会場提供を行った。
- ・ 苫小牧市美術館友の会の事務局会議の会場提供、会議の出席等を行った。
- ・ 郷土文化研究会の会議会場の提供、市民公開講座への協力、会議の出席等を行った。
- ・ 苫小牧縄文会の総会や講演会場の提供を行った。

②ボランティア研修事業(登録者数：44名、総参加者数：155名)

特別展、企画展のレクチャー、バス研修、標本製作など研修会を8回実施した。

(8) 埋蔵文化財の保護

市内の開発工事(各種開発確認・開発区域詳細)に伴う遺跡の有無を確認するための調査
遺跡パトロールの実施

文化財保護法に基づく事前協議・調査・立会 13件

遺跡の所在に関する問合せの対応 109件

市内遺跡発掘調査等事業の実施

美沢地区試掘調査 4月12日(水)～4月13日(木)

苫東柏原地区試掘調査 9月26日(火)～10月14日(土)

糸井地区試掘調査 3月21日(木)

(9) 大会・研修への参加

協議会・大会等

名 称	日 程	開催地	参加職員
北海道博物館大会	7月13日(木)	恵庭市	藤原
日胆地区博物館協議会総会	5月25日(木)	えりも町	藤原
北海道美術館学芸員研究協議会	3月7日(木)、 8日(金)	札幌市	細矢

研修

名 称	日 程	開催地	参加職員
道央地区博物館等連絡協議会第1回研修会	6月6日(火)	札幌市	沖津
北海道博物館協会学芸員職員部会総会・研修会	10月5日(木)、 6日(金)	余市町	岡本
日胆地区博物館協議会研修会	10月19日(木)、 20日(金)	苫小牧市	藤原、細矢、江崎、 立石、沖津、岩波、 佐藤、岡本
学芸員専門研修アドバンスト・コース	11月6日(月) ～9日(木)	茨城県 つくば市	江崎
アイヌ文化でつながる博物館等ネットワーク(プンカ)研修会	11月11日(土)、 12日(日)	白老町	岩波、岡本
埋蔵文化財担当職員研修会	12月15日(金)	江別市	岩波、岡本

(10) その他の事業

北洋大学非常勤講師「北海道歴史文化論／北海道地方史」

4月7日(金)、14日(金)、21日(金)、28日(金)、5月12日(金) 計5回 担当：岩波

5月18日(木)、26日(金)、6月2日(金)、9日(金)、16日(金) 計5回 担当：佐藤

はちとまネットワーク連携事業

企画展と連携し、事業紹介パネル、映像を展示した。

7月15日(土)～9月3日(日)

2 入館者

	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
個人	大人	1,677	1,981	1,361	1,943	2,468	3,005	6,534	5,509	1,055	1,439	1,612	1,665	30,249
	高大	23	43	16	31	68	48	87	58	18	21	34	50	497
	小中	241	270	142	608	802	456	1,078	815	121	184	91	205	5,013
	幼児	124	174	57	267	289	146	211	324	71	98	66	96	1,923
	小計	2,065	2,468	1,576	2,849	3,627	3,655	7,910	6,706	1,265	1,742	1,803	2,016	37,682
団体	大人	10	7	39	26	38	62	116	50	55	12	12	11	438
	高大	0	73	36	0	28	0	0	0	0	0	0	0	137
	小中	0	101	0	0	0	217	592	270	366	67	0	0	1,613
	幼児	0	0	0	0	18	19	1	0	0	0	18	0	56
	小計	10	181	75	26	84	298	709	320	421	79	30	11	2,244
合 計		2,075	2,649	1,651	2,875	3,711	3,953	8,619	7,026	1,686	1,821	1,833	2,027	39,926

※展示事業関連行事、教育普及事業参加者は個人に含む。ただし、郷土学習は団体参加者に含む。

※館外で実施した展示事業関連行事、教育普及事業参加者は入館者に含まれない。

3 令和5年度決算(見込)

(1) 歳 入

区 分	予算現額	決算額	説 明
使 用 料 (入 館 料)	3,003,000	3,329,120	常設・企画展観覧料 2,088,120 特別展観覧料 1,241,000
使 用 料 (行政財産使用料)	138,000	234,710	展示室・設備使用料 196,080 自動販売機電気使用料 38,630
受 講 料	130,000	141,700	美術博物館大学講座 141,700
社 会 教 育 費 国 庫 補 助 金	1,391,000	1,008,000	遺跡発掘調査事業費 1,008,000
ア イ ヌ 政 策 推 進 交 付 金	788,000	781,609	アイヌ文化関連展示整備事業 781,609
市民文化芸術振興 基 金 繰 入 金	4,498,000	4,489,854	市民文化芸術振興基金繰入金 4,489,854
雑 入 特別展共催負担金	240,000 12,320,000	33,700 12,320,000	図録販売収入 33,700 出光美術館名品選共催負担金 12,320,000
合 計	22,508,000	22,338,693	

(2) 歳 出

区 分	予算現額	決算額	説 明
報 酬	153,000	91,500	美術博物館協議会委員経費 95,660
報 償 費	330,000	256,000	美術博物館管理運営経費 32,238,303
旅 費	1,905,000	1,408,070	{ 燃料費 4,713,368 光熱水費 6,943,659 管理運営委託料 15,677,647 その他管理運営費 4,903,629
需 用 費	22,190,600	21,462,890	美術博物館活動及び調査研究経費 3,108,239
役 務 費	1,986,295	1,933,296	勇武津資料館管理運営経費 3,168,969
委 託 料	45,487,000	38,480,925	{ 燃料費 201,410 光熱水費 445,238 管理運営委託料 1,899,517 その他管理運営費 622,804
使 用 料 及 び 賃 借 料	1,257,105	893,833	遺跡発掘調査等事業費 1,443,336
原 材 料 費	6,000	0	美術博物館企画展示事業費 3,701,134
備 品 購 入 費	415,000	414,700	美術博物館特別展事業費 5,245,062
負 担 金 補 助 及 び 交 付 金	84,000	83,000	美術博物館祭事業費 489,854
			アイヌ文化関連展示整備事業費 977,060
			出光美術館名品選事業費 14,556,597
合 計	73,814,000	65,024,214	

4 令和6年度予算

(1) 歳 入

区 分	当初予算額	説 明
使 用 料	3,003,000	観覧料 1,753,000 特別展観覧料 1,250,000
行 政 財 産 使 用 料	138,000	展示室・設備使用料 103,000 自動販売機電気使用料 35,000
受 講 料	130,000	美術博物館大学講座受講料 130,000
社 会 教 育 費 金	1,879,000	遺跡発掘調査等事業費 1,879,000
ア イ ヌ 政 策 金	891,000	アイヌ文化関連展示整備事業費 891,000
雑 入	300,000	企画展図録販売収入 300,000
市民文化芸術振興基金繰入金	4,498,000	市民文化芸術振興基金繰入金 4,498,000
国 庫 支 出 金	4,000,000	再編関連訓練移転等交付金 (勇武津資料館整備事業) 4,000,000
一 般 財 源	47,575,000	
合 計	62,414,000	

(2) 歳 出

区 分	当初予算額	説 明
報 酬	153,000	美術博物館協議会委員経費 160,000
報 償 費	270,000	美術博物館管理運営経費 31,908,000
旅 費	1,120,000	燃料費 5,180,000
需 用 費	19,922,000	光熱水費 6,326,000
役 務 費	904,000	管理運営委託料 15,980,000
委 託 料	31,238,000	その他管理運営費 4,422,000
使 用 料 及 び 賃 借 料	1,984,000	美術博物館活動及び調査研究経費 3,241,000
原 材 料 費	6,000	勇武津資料館管理運営経費 3,400,000
備 品 購 入 費	4,716,000	燃料費 247,000
負 担 金 補 助 及 び 交 付 金	84,000	光熱水費 442,000
		管理運営委託料 2,129,000
		その他管理運営費 582,000
		遺跡発掘調査等事業費 3,758,000
		美術博物館企画展示事業費 4,710,000
		美術博物館特別展事業費 4,973,000
		美術博物館祭事業費 498,000
		アイヌ文化関連展示整備事業費 1,114,000
		美術博物館地下タンク整備事業費 2,035,000
		勇武津資料館整備事業費 4,600,000
合 計	60,397,000	

5 施設の概要

(1) 沿革

- 昭和35年 6月 市立苫小牧図書館に郷土博物室設置
- 45年 1月 苫小牧市青少年センターを建設し、博物展示部門・科学展示部門設置
- 48年 11月 苫小牧百年を記念して、郷土博物館建設方針決定
- 12月 郷土博物館資料収集調査委員会設置
- 56年 11月 苫小牧市博物館基本構想(案)がまとまり、建設準備委員会を設置
- 57年 1月 建設準備委員会で埋蔵文化財調査センターの併設を審議
- 58年 3月 博物館建設の基本計画決定
- 11月 建築工事着工
- 59年 11月 展示工事着工
- 60年 11月 開館、第1回特別展「苫小牧地方の有形文化財」開催
- 61年 3月 第1回博物館協議会開催
- 62年 7月 博物館・埋蔵文化財調査センター、昭和62年度建築業協会賞受賞
- 63年 7月 常陸宮両殿下来館、博物館友の会設立
- 9月 第12回特別展「陶磁の東西交流展」開催
- 平成元年 6月 入館者10万人達成
- 9月 高円宮両殿下来館、郷土学習開始
- 2年 8月 開館5周年記念第18回特別展「紙の文化史展」開催
- 3年 7月 第30回北海道博物館大会開催
- 4年 9月 入館者20万人達成
- 5年 2月 第25回特別展「マオリ文化展」開催
- 6年 12月 平成6年度北海道博物館活動交流推進会議開催
- 7年 7月 開館10周年記念特別展「大昔の苫小牧～よみがえる古代人の暮らし～」開催
- 8年 3月 「二つの島のかけはし～苫小牧市博物館所蔵品展～」をニュージーランドネーピア市ホークスベイ博物館にて開催。同月、入館者30万人達成
- 9年 5月 日胆地区博物館等連絡協議会設立総会開催
- 10年 5月 とまこまい市制50周年記念「シャガールとパリの画家たち展」開催
- 7月 とまこまい市制50周年記念「出光美術館所蔵ジョルジュ・ルオー展」開催
- 11年 8月 第43回特別展「日光東照宮宝物展～姉妹都市日光の横顔～」開催
- 12年 8月 第44回特別展「八王子千人同心と幕末の勇武津」開催
- 13年 9月 21世紀記念事業「名品にみる武家の美と心～文化人井伊直弼の世界」開催
- 14年 8月 苫小牧市民文化芸術振興条例制定記念事業、トヨタ自動車北海道(株)創業10周年記念事業「印象派とその歩み展～感じたままに 瞬間を描く～」開催
- 15年 7月 第47回特別展「川上澄生の世界～南蛮文化・文明開化・苫小牧～」開催
- 16年 4月 トヨタ自動車北海道(株)「東京藝術大学に集った画家たち展」開催
- 7月 第48回特別展「砂田友治の画業～人間賛歌の造形をめざして～」
- 17年 8月 開館20周年記念特別展「のぞいてみよう恐竜時代～クビナガリュウが見た北海道～」開催
- 18年 1月 浩宮皇太子殿下来館
- 7月 第50回特別展「昭和の暮らし～我が家にテレビが来たころ～」開催

- 平成18年 9月 出光美術館所蔵「中国・滋州窯～なごみと味わい～」開催
- 19年 7月 第51回特別展「マッチ・ワンダーランド～歴史・デザイン・喫茶店文化～」開催
- 9月 トヨタ自動車北海道(株)創業15周年記念「エコール・ド・パリ～パリを愛した画家たち展」開催
- 20年 2月 入館者60万人達成
- 9月 市制60周年記念出光美術館所蔵「板谷波山展」開催
- 21年 7月 第53回特別展「縄文美の極み～亀ヶ岡文化～」開催
- 22年 8月 開館25周年記念特別展「紙をつくる 紙でつくる」開催
- 23年 7月 ウトナイ湖ラムサール条約登録記念特別展「鳥の世界」開催
- 24年 7月 トヨタ自動車北海道(株)創業20周年記念
「光から夢をたどって～印象派からエコール・ド・パリまで」開催
- 24年 8月 改修工事のため休館
- 25年 4月 博物部門常設展再オープン
- 25年 7月 苫小牧市美術博物館開館、開館記念特別展「出光美術館所蔵美術展」開催
- 26年 7月 開館1周年記念特別展「青森県立美術館コレクション展～アオモリ・アヴァンギャルド：堆積する創造のエネルギー」開催
- 27年 9月 特別展「花ひらく近代洋画の世界」開催
- 28年 7月 開館3周年記念特別展「Art and Air 一空と飛行機をめぐる、芸術と科学の物語」開催
- 29年 7月 特別展「トヨタ自動車北海道株式会社25周年事業 水から未来を紡いで 20世紀美術の創造」開催
- 9月 特別展「柳原良平の海・船・港」開催
- 30年 7月 特別展「歌川広重 二つの東海道五拾三次 保永堂版と丸清版」開催
- 令和元年 7月 特別展「第一洋食店の100年と苫小牧」開催
- 令和2年 7月 特別展「生誕100年 | ロボットと芸術～越境するヒューマノイド」開催
- 令和3年 7月 特別展「発掘された日本列島2021」開催
- 令和4年 7月 特別展「トヨタ自動車北海道株式会社創業30周年記念事業 芸術の都ウィーンとデザインの潮流」開催
- 9月 特別展「壁画《芽の出る音》設置50年記念 谷内六郎展」開催
- 令和5年 7月 特別展「縄文≡現代～共鳴する美のかたち」開催
- 9月 出光興産株式会社北海道製油所操業50周年 苫小牧市美術博物館開館10周年
特別展「出光美術館近代美術名品選一四季が彩る美の世界」開催

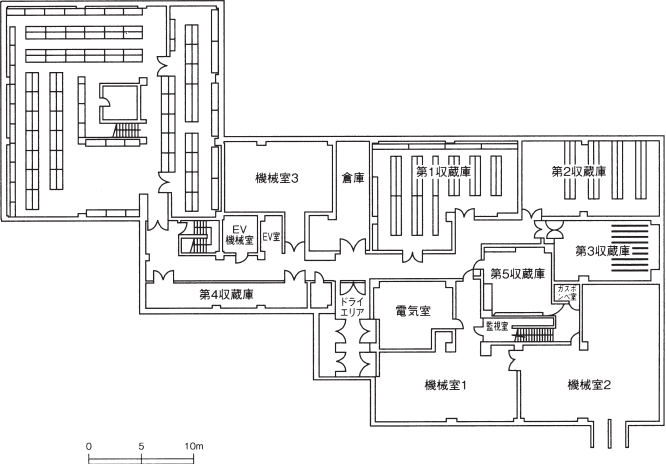
(2) 施設見取り図・概要

構 造 鉄筋コンクリート造、地下1階、地上2階

建築面積 2,111.24㎡ 延床面積 5,188.82㎡

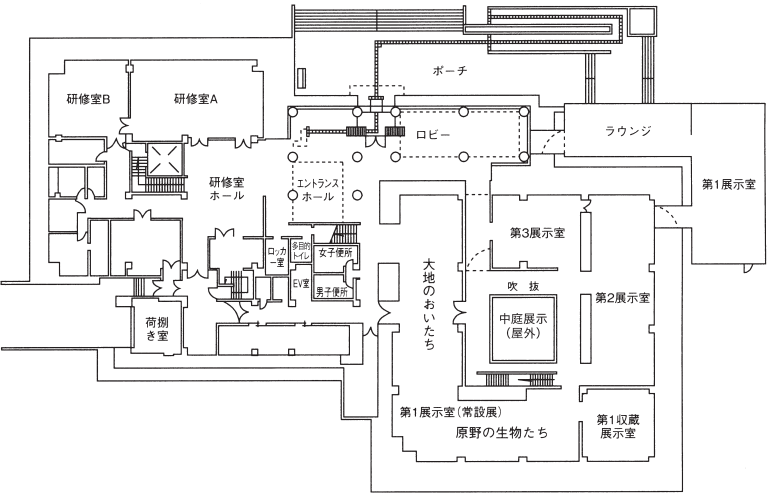
地下

室 名	面積(㎡)
倉 庫	45.16
収蔵庫(第1～3)	303.72
第5収蔵庫	45.16
そ の 他	1064.14
(小 計)	1458.18



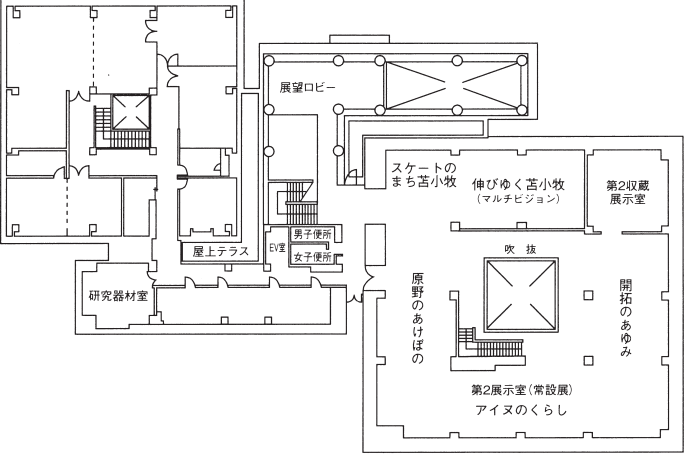
1階

室 名	面積(㎡)
常 設 展 示 室	349.44
第1収蔵展示室	75.51
第1展示室	150.51
第2展示室	176.54
第3展示室	82.26
中庭展示(屋外)	(45.16)
ラ ウ ン ジ	80.42
研 修 室 ホール	86.39
研 修 室 A	93.7
研 修 室 B	70.8
事 務 室	39.1
荷 捌 き 室	71.8
そ の 他	832.58
(小 計)	2,109.05



2階

室 名	面積(㎡)
常 設 展	623.68
第2収蔵展示室	74.82
マルチビジョン室	106.69
研 究 室	71.49
研 究 機 材 室	45.43
展 望 ロ ビ ー	75.25
そ の 他	624.23
(小 計)	1,621.59



(3) 組 織 (令和5年4月1日現在)

①美術博物館協議会委員

会 長	斎野伊知郎	(苫小牧郷土文化研究会 会長)
副会長	林 廣志	(苫小牧写真連盟 会長)
委 員	内海 一弘	(苫小牧市美術館友の会 事務局)
	大塚 志保	(苫小牧市立苫小牧西小学校 校長)
	菊地 綾子	(フリーランスライター (市民公募))
	木村 由美	(北海学園大学 非常勤講師 (市民公募))
	田中 雅子	(苫小牧市立植苗中学校 校長)
	中村 誠宏	(北海道大学苫小牧研究林 林長)
	山田 利一	(北洋大学 教授)
	渡邊 愛子	(苫小牧市PTA連合会 副会長)

②職 員

館 長	藤原 誠
主 査(再任用)	遠藤 久雄
主 査(美術)	細矢 久人
主 査(自然史)	江崎 逸郎
主任学芸員(書)	沖津かな
主任学芸員(美術)	立石絵梨子
学芸員(考古)	岩波 連
学芸員(歴史)	佐藤 麻莉
学芸員(考古)	岡本 直樹
受 付(会計年度任用職員)	長谷川一枝
	吉村みどり
	三木 裕子

設備管理・清掃(委託)

苫小牧市美術博物館 年報

第11号（令和5年度）

（苫小牧市博物館 館報 通算22号）
（苫小牧市博物館 年報 通算39号）

発行日	令和6年7月
編集・発行	苫小牧市美術博物館 〒053-0011 北海道苫小牧市末広町3丁目9番7号 TEL 0144 (35) 2550 FAX 0144 (34) 0408
印刷	北光印刷株式会社